

2024年4月  
農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

## 運用資産の温室効果ガス排出量のネットゼロに向けた「2030年中間目標」の設定について

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 牛窪 克彦、以下「当社」）は、2024年3月、「Net Zero Asset Managers initiative」（以下「NZAMI」）に参加し、2050年までに運用資産の温室効果ガス排出量のネットゼロ実現（以下「2050年ネットゼロ」）を目指すことを表明しております。今般、2050年ネットゼロに向けた2030年中間目標を設定しましたので、お知らせいたします。

今回設定した2030年中間目標は、運用資産の約75%を対象に、そのカーボンフットプリント（投資1単位当たり温室効果ガス排出量）を2019年比半減（50%削減）するものです。なお、対象資産として上場株式および社債を組み入れており、今回対象外としたソブリン債等は、温室効果ガス排出量の算定方法や目標設定手法が確立され次第、順次対象資産へ追加することを検討します<sup>※1</sup>。

2030年中間目標の達成に向けて、アセットオーナー等のお客様と協働しながら、責任投資の実践や投資先との対話、ネットゼロに沿った投資商品の提供、気候変動の重要性にかかる啓発・情報提供などに取り組みます。また、温室効果ガス排出量削減インパクトの大きい企業を特定のうえ、脱炭素ビジネスへの移行に向けて、当該企業との気候変動問題に関する建設的な対話に一層力を入れていく方針としています。

当社は、経営理念において、あらゆるステークホルダーの皆様の中長期的な利益と、持続可能な環境社会の構築が好循環している「みのりある豊かな未来」を目指すことを掲げています。また当社は農林水産業や地域が母体であることから、地域の人々の生活や事業活動に大きな影響を与える気候変動は、自分たちの存在意義に直結する課題であると認識しています。当社のESGステートメント<sup>※2</sup>に基づき、2050年ネットゼロという明確な目標に向けて、一貫した努力を続けて参ります。

以上

※1 当社2030年中間目標の詳細は、[NZAMIウェブサイト](#)をご覧ください。

※2 当社ESGステートメントの詳細は、[コチラ](#)をご覧ください。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 企画部

TEL : 03-5210-8500